

第38回日本ロボット学会学術講演会 原稿の書き方

○信州太郎（日本ロボット学会） 東北花子（（株）RSJ）

1. 講演論文原稿作成方法について

1. 講演会ウェブサイトについて

講演論文原稿（PDF 形式のみ）の投稿はインターネット経由で行います。詳細については、第38回日本ロボット学会学術講演会のウェブサイト [2] をご参照ください。

2. Microsoft Word 2000 以降の場合

ウェブサイト [2] から sample2020j.doc をダウンロードして講演論文原稿を作成してください。MS Word や OS のバージョンによってはレイアウトが崩れる場合があります。

そういった場合は、適宜 sample2020j.pdf の書式に合うように原稿を作成してください。

3. TeX の場合

platex2e をお使いの方は、sample2020j.zip をダウンロードし、中の sample2020j.tex と rsj2020j.sty をお使いください。なお、TeX では、sample2020j.pdf の書式とは異なる場合がございます。ご了承ください。

4. その他の場合

sample2020j.pdf の書式に合うように原稿を作成してください。

作成したファイル (dvi ファイル、Word ファイル等) から PDF ファイルを作成してください。このときの画質、セキュリティ、余白等について注意してください。詳細は、ウェブサイト [2] をご参照ください。また、作成された PDF ファイルを Adobe Acrobat Reader (旧 Adobe Reader) で開いてご確認ください。確認事項については、ウェブサイト [2] をご参照ください。

2. 講演論文原稿書式について

2.1 原稿枚数について

講演論文原稿は1ページ以上4ページ以内です。ファイルの容量は3M バイト（動画を含む場合は、動画を含めて4M バイト）までです。規定ページを越えるものは掲載いたしません。また、容量制限をこえるものは投稿できません。

2.2 和文原稿の場合

2.2.1 原稿の体裁

A4 版白紙に縦 250mm、横 170mm の枠内に収まるようにお願いします。主要活字は10ポイント以上をご使用ください。提出された講演論文原稿は、そのまま予稿集に掲載いたします。原稿の書き方が不適当にならないようにご注意ください。詳細については、ウェブサイト [2] をご参照ください。

2.2.2 図と表について

図・表は、印刷しても問題ない程度の解像度を持ち、かつアップロードの際のファイルサイズ上限を越えな

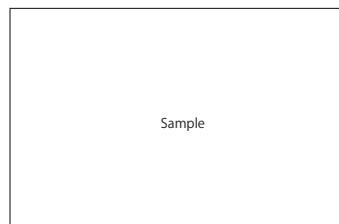


図1 サンプル画像

い大きさとなるようにご注意ください。

2.2.3 参考文献

文献の引用は本文中に [1] のように書き、参考文献を本文の最後にまとめて書いてください。参考文献の書式は、日本ロボット学会誌に準拠させてください。

2.3 注意点

2011 年より、和文原稿には、英文題目、英文著者名を掲載しないことになりました。図中のキャプションや図名も和文と致します。また、和文、英文原稿ともアブストラクトおよびキーワードの掲載を求めないことにいたしました。

2.4 英文原稿の場合

英文原稿の執筆要綱は和文原稿のそれに準じます。英文による題目、著者名をご記入下さい。和文による題目、著者名等は不要です。

3. 講演申し込みおよび電子入稿

2019 年より講演申し込みと電子入稿の締め切りが異なり、2段階での手続きとなりました。講演申込締切までに、講演題目・著者名・講演概要などを登録し、講演の申し込みをしてください。その後、論文投稿〆切日までに、講演論文原稿ファイル（PDF 形式）をアップロードして頂きます。詳細については、ウェブサイトをご参照ください。

4. レター同時投稿について

日本ロボット学会誌編集委員会では、令和元年末に論文投稿規定の見直しを行いました。この見直しに伴い、本講演会からレター同時投稿を受け付けることとなりました。具体的には、日本ロボット学会学術講演会に投稿した講演論文を、「そのまま」の内容でレター（速報性を有する研究報告。最大4ページ）に投稿することが可能となりましたので、これを同時に受け付けます。（ただし、フォーマットは異なります。）レター原稿の作成と投稿に関する詳細については、RSJ のウェブサイトにある PDF [3] をご覧頂ければと思いますが、講演会の論文投稿と同時に、ロボット学会 HP に掲載の論文投稿システムより、同内容をレターフォーマットで投稿して頂ければ、査読プロセス（速報性を重視

するため初回査読期間は 15 日以内) を経て Accept された論文が, 講演会後に順次オンラインに掲載されます. 学術講演会等の講演論文を論文誌に投稿する際には「新たな内容の追加や内容の充実が必要である」としていますが, 日本ロボット学会が主催する学術講演会については, この規定の対象外としたため, レター同時投稿が可能となりました. この機会を使って, 是非, レター投稿をご検討下さい. なお, レターは最大 4 ページですが, 4 ページ未満の原稿も受け付けます.

レター同時投稿の原稿作成ならびに投稿については, ウェブサイト [2] をご参照ください.

参 考 文 献

- [1] 山田太郎, 鈴木一郎: “第 100 回日本ロボット学会講演会
用原稿の書き方”, 日本ロボット学会誌, vol. 99, no. 4,
pp. 8–12, 2082.
- [2] “第 38 回日本ロボット学会学術講演会のウェブサイト”,
<https://ac.rsj-web.org/2020/>
- [3] “日本ロボット学会誌・寄稿および査読に関する規則
集”, [https://www.rsj.or.jp/content/files/data_
rules/F-02.pdf](https://www.rsj.or.jp/content/files/data_rules/F-02.pdf)